

定期作況報告

令和8年5月
(5月20日現在)



北見農業試験場

1. 気象経過

1) 前年（令和7年）9月以降の経過は気象表のとおり

2) 本年（令和8年）4月以降の経過

4月上旬： 最高気温、最低気温、平均気温は極めて高かった。降水量は平年より少なく（平年比47%）、日照時間は平年並であった（平年比98%）。

4月中旬： 最高気温は高く、最低気温はやや低く、平均気温はやや高かった。降水量は平年より少なく（平年比2%）、日照時間はやや多かった（平年比127%）。

4月下旬： 最高気温は平年並、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は平年より少なく（平年比19%）、日照時間は平年並であった（平年比110%）。

5月上旬： 最高気温、最低気温、平均気温は平年並であった。降水量は極めて多く（平年比211%）、日照時間は平年並であった（平年比87%）。

5月中旬： 最高気温は平年並で、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は少なく（平年比17%）、日照時間はやや少なかった（平年比77%）。

根雪始は平年より10日早い12月3日、根雪終は平年より5日早い3月29日で、積雪期間は平年より5日長い117日間であった。耕鋤始は平年より11日早い4月9日であった。

3) 季節表

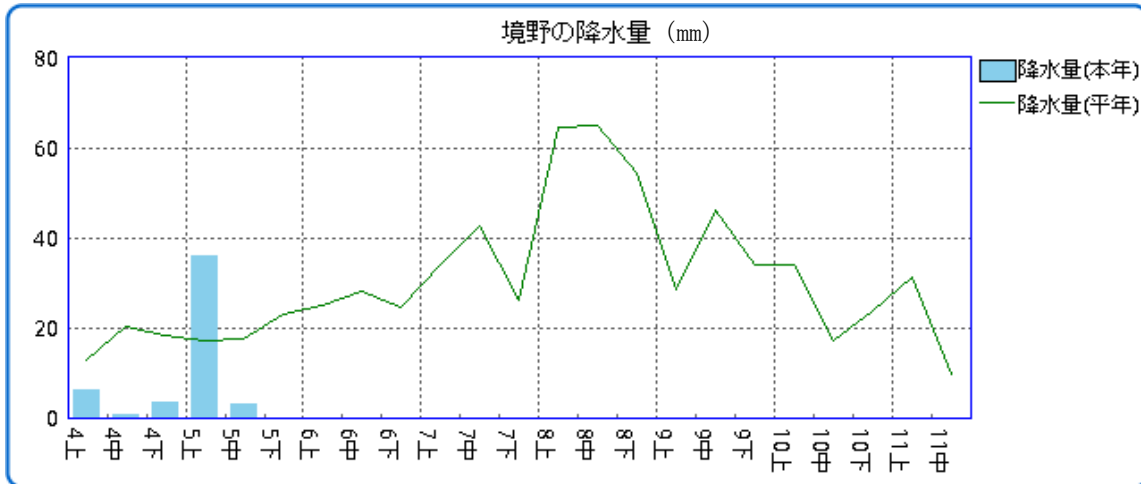
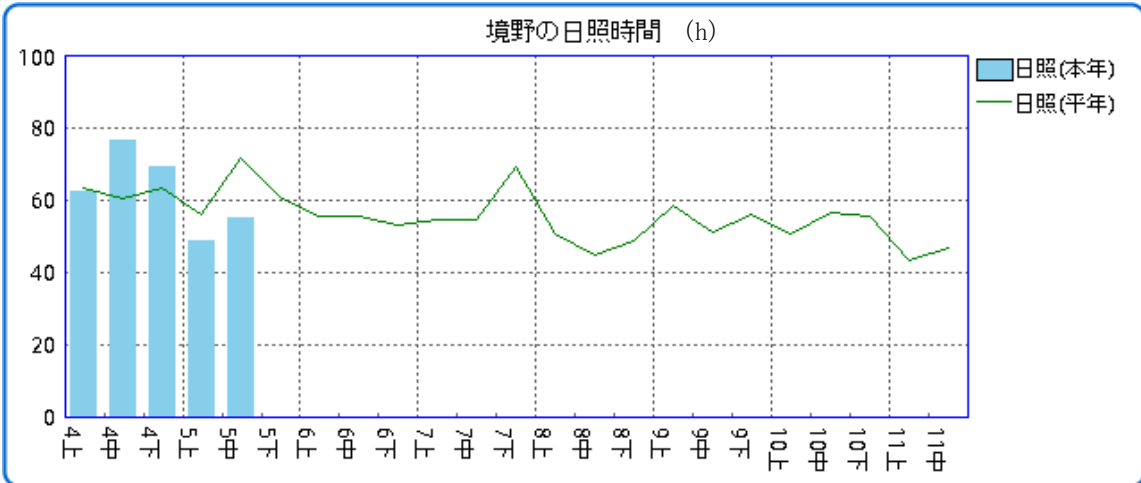
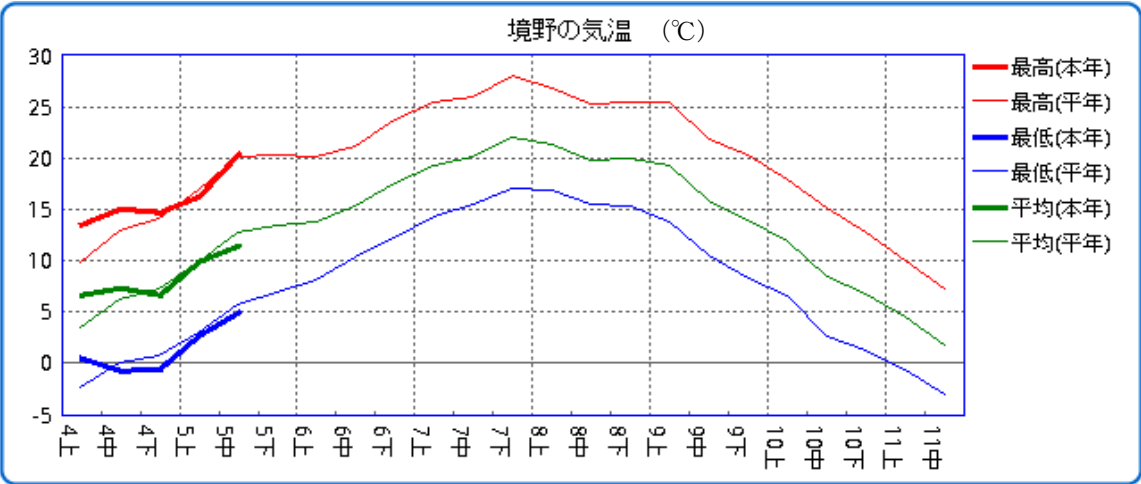
年次	初 霜	根 雪 始	通常の根雪終	積雪期間	降雪終	耕鋤始	晩霜
	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)
本年	2025.10.11	2025.12.3	2026.3.29	117	2026.5.4	2026.4.9	2026.5.10
平年	10.13	12.13	4.3	112	4.27	4.20	5.12
比較	-2	-10	-5	5	7	-11	-2

注) 観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

4) 気象表

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
2025年 9月	上旬	19.8	18.8	1.0	25.7	25.0	0.7	14.8	13.5	1.3	55.5	26.7	28.8	50.3	57.5	-7.2
	中旬	16.5	15.6	0.9	24.2	21.5	2.7	10.4	10.4	0.0	73.0	44.5	28.5	65.8	49.1	16.7
	下旬	14.5	13.8	0.7	21.3	20.3	1.0	9.1	8.1	1.0	56.5	29.7	26.8	70.0	56.0	14.0
10月	上旬	12.8	11.7	1.1	19.5	17.6	1.9	6.9	6.4	0.5	1.5	39.6	-38.1	66.9	51.0	15.9
	中旬	7.5	8.5	-1.0	13.3	15.5	-2.2	2.0	2.5	-0.5	1.0	17.1	-16.1	35.7	60.0	-24.3
	下旬	4.3	6.7	-2.4	10.7	12.9	-2.2	-0.8	1.2	-2.0	23.0	21.8	1.2	47.1	57.7	-10.6
11月	上旬	3.3	4.5	-1.2	8.5	10.1	-1.6	-1.0	-0.8	-0.2	72.0	25.7	46.3	45.3	42.8	2.5
	中旬	0.6	2.0	-1.4	5.9	7.5	-1.6	-4.1	-2.7	-1.4	8.0	10.9	-2.9	51.0	45.8	5.2
	下旬	2.1	-1.1	3.2	7.5	4.0	3.5	-2.1	-6.0	3.9	9.0	13.6	-4.6	48.3	46.0	2.3
12月	上旬	-2.8	-3.7	0.9	2.5	2.2	0.3	-9.0	-9.5	0.5	17.5	10.7	6.8	47.2	51.2	-4.0
	中旬	-7.5	-6.2	-1.3	-1.0	-0.4	-0.6	-14.6	-11.7	-2.9	60.5	5.1	55.4	43.6	46.7	-3.1
	下旬	-4.4	-7.5	3.1	-0.1	-1.8	1.7	-11.0	-13.2	2.2	15.5	17.4	-1.9	29.8	48.1	-18.3
2026年 1月	上旬	-10.4	-8.7	-1.7	-2.5	-2.6	0.1	-17.2	-15.1	-2.1	1.5	4.2	-2.7	50.2	47.3	2.9
	中旬	-7.8	-8.5	0.7	-2.3	-2.6	0.3	-14.1	-14.6	0.5	4.5	13.0	-8.5	54.7	47.1	7.6
	下旬	-10.8	-8.7	-2.1	-3.9	-3.2	-0.7	-16.3	-14.9	-1.4	0.0	11.6	-11.6	61.1	44.3	16.8
2月	上旬	-9.2	-10.1	0.9	-2.0	-3.6	1.6	-15.4	-17.1	1.7	0.5	6.1	-5.6	55.6	49.0	6.6
	中旬	-5.8	-6.6	0.8	-0.3	-0.6	0.3	-13.9	-13.5	-0.4	4.0	10.2	-6.2	40.0	45.3	-5.3
	下旬	-0.7	-7.3	6.6	4.8	-0.7	5.5	-6.9	-14.8	7.9	10.5	6.2	4.3	42.7	49.5	-6.8
3月	上旬	-1.5	-4.0	2.5	1.7	1.9	-0.2	-4.8	-10.8	6.0	18.0	20.5	-2.5	27.4	55.2	-27.8
	中旬	-0.2	-1.0	0.8	3.7	4.1	-0.4	-4.0	-6.9	2.9	1.5	9.9	-8.4	35.6	50.4	-14.8
	下旬	3.1	1.2	1.9	9.6	7.0	2.6	-3.2	-4.5	1.3	1.0	8.7	-7.7	84.0	71.8	12.2
4月	上旬	6.6	3.5	3.1	13.5	9.8	3.7	0.5	-2.3	2.8	6.0	12.7	-6.7	62.4	63.4	-1.0
	中旬	7.3	6.2	1.1	15.1	13.0	2.1	-0.7	0.1	-0.8	0.5	20.2	-19.7	76.6	60.5	16.1
	下旬	6.6	7.3	-0.7	14.7	14.2	0.5	-0.5	0.8	-1.3	3.5	18.2	-14.7	69.4	63.3	6.1
5月	上旬	9.9	9.8	0.1	16.3	16.8	-0.5	2.6	3.0	-0.4	36.0	17.1	18.9	48.9	56.1	-7.2
	中旬	11.5	12.8	-1.3	20.4	20.1	0.3	4.9	5.8	-0.9	3.0	17.4	-14.4	55.4	71.9	-16.5

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる（てん蔵の定期作況気象情報）。10年平均は前10か年の平均値である。



秋まき小麦（令和7年9月播種）

2. 当場の作況

注）本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦（令和7年9月播種） 作況：不良

月	作況	事由
令和7年 11月20日	不良	9月の降水量が平年よりも多かったため、圃場作業が遅れ、播種期は平年より11日遅い10月1日であった。出芽期は平年より11日遅い10月8日であった。出芽期以降、平均気温が10月中旬は平年よりやや低く、10月下旬は低く経過したこと、播種期が遅くなったことにより、越冬前の草丈は平年より低く、茎数は平年より少なかった。 以上のことから、目下の作況は「不良」である。
令和8年 5月20日	不良	根雪始は平年より10日早い12月3日、根雪終は平年より5日早い3月29日で、根雪期間は平年より5日長かった。作況の調査圃場は融雪剤を散布したため、融雪期は3月20日であった。雪腐病の発生は僅かに認められた。融雪後の平均気温が平年に比べ4月下旬、5月中旬がやや低く経過し、草丈は平年並、茎数は少なかった。 以上のことから、目下の作況は「不良」である。

生育データ

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期	(令和7年月. 日)	10.01	9.20	11
出芽期	(令和7年月. 日)	10.08	9.27	11
出穂期	(令和8年月. 日)		6.07	
成熟期	(令和8年月. 日)		7.19	
草丈 (cm)	(令和7年11月20日)	12.0	17.9	△ 5.9
	(令和8年5月20日)	40.9	39.3	1.6
	(令和8年6月20日)		79.1	
茎数 (本/m ²)	(令和7年11月20日)	353	1455	△ 1102
	(令和8年5月20日)	855	1748	△ 893
	(令和8年6月20日)		879	
成熟期	稈長 (cm)		77	
	穂長 (cm)		8.0	
	穂数 (本/m ²)		784	
子実重 (kg/10a)			681	
同上平年比 (%)			100	
ブラウエル容積重 (g/L)			816	
千粒重 (g)			36.9	
品質 (検査等級)			1	

注）平年値は前7か年中、令和元年（最豊）、令和4年（最凶）を除く5か年の平均。

3) 春まき小麦 作況：平年並

月	作況	事由
5月20日	平年並	調査圃場は、融雪剤散布により3月23日に融雪期となった。4月上中旬の降水量は、平年よりも少なかったため土壌の乾燥が早く、播種期は平年より2日早かった。播種が早く4月中旬の平均気温が高いことから、出芽期は平年より4日早かったものの、4月下旬、5月下旬の平均気温がやや低かったため、草丈は低かった。茎数は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

作況データ

調査項目	春よ恋			
	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	4.15	4.17	△ 2	
出芽期 (月.日)	4.26	4.30	△ 4	
出穂期 (月.日)		6.19		
成熟期 (月.日)		7.31		
草丈(cm)	(5月20日)	19.3	22.1	△ 2.8
	(6月20日)		74.3	
茎数(本/m ²)	(5月20日)	605	618	△ 13
	(6月20日)		778	
稈長(cm) (7月20日)		92		
穂長(cm) (7月20日)		8.5		
穂数(本/m ²) (7月20日)		627		
子実重(kg/10a)		525		
同上平年比 (%)		100		
ブラウウェル容積重 (g)		830		
千粒重 (g)		38.5		
品質 (検査等級)		1	-	

注) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)、令和4年(最凶)を除く5か年の平均。

3) てんさい

作 況：平年並

月日	作況	事由
5月20日	平年並	<p>移植苗の播種は、平年並の3月23日に行った。育苗中の生育は良好であった。移植は平年より3日遅い5月7日に行った。移植前後の降水量が多く土壌は湿潤で、苗の活着は良好であった。その後、5月中旬の気温は平年よりやや低かったが、草丈、生葉数、茎葉重は平年と同程度で、生育の遅れは見られなかった。</p> <p>以上のことから、目下の作況は平年並である。</p>

生育データ

調査項目	移植						直播			
	ライエン			アマホマレ			ライエン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	3.23	3.24	△ 1	3.23	3.24	△ 1	5.07	5.06	1	
移植期 (月.日)	5.07	5.04	3	5.07	5.04	3	-	-	-	
出芽期 (月.日)	-	-	-	-	-	-	5.18	5.16	2	
収穫期 (月.日)		10.19			10.19			10.19		
草丈 (cm)	(5月20日)	6.0	6.7	△ 0.7	5.4	6.9	△ 1.5	-	-	-
	(6月20日)		21.3			23.0			16.7	
	(7月20日)		51.6			54.8			51.8	
	(8月20日)		57.2			63.3			60.3	
	(9月20日)		57.8			66.8			62.7	
生葉数 (枚)	(5月20日)	5.3	6.3	△ 1.0	4.2	5.1	△ 0.9	-	-	-
	(6月20日)		13.3			11.9			9.6	
	(7月20日)		22.4			21.8			21.6	
	(8月20日)		28.6			26.7			27.0	
	(9月20日)		31.0			27.6			28.6	
茎葉重 (g/個体)	(5月20日)	1.1	1.2	△ 0.1	0.9	1.1	△ 0.2			-
	(6月20日)		55			56			26	
	(7月20日)		477			535			459	
	(8月20日)		808			894			780	
	(9月20日)		759			894			777	
根重 (g/個体)	(6月20日)		14			14			3	
	(7月20日)		279			279			206	
	(8月20日)		761			760			647	
	(9月20日)		1033			1030			935	
根周 (cm)	(7月20日)		23.6			23.1			21.5	
	(8月20日)		34.0			32.5			32.2	
	(9月20日)		38.6			37.1			37.1	
根中糖分 (%)	(9月20日)		16.27			16.16			16.50	
茎葉重 (kg/10a)	(収穫期)		5773			6173			5716	
根重 (kg/10a)	(収穫期)		7982			7073			7091	
同上平年比 (%)			100			100			100	
根中糖分 (%)	(収穫期)		17.42			17.90			17.86	
同上平年比 (%)			100			100			100	
糖量 (kg/10a)	(収穫期)		1388			1265			1264	
同上平年比 (%)			100			100			100	

注1) 平年値は前7か年中、令和3年（最豊）令和5年（最凶）を除く5か年の平均。

4) 牧草 (チモシー)

作 況 : やや良

月日	作況	事由
5月20日	やや良	萌芽期は、平年より16日早い3月31日で冬損は認められなかった。萌芽後の気温は4月下旬以降平年並からやや低く、降水量が平年より少なく推移したものの、萌芽が早かったため5月20日現在の草丈が平年より10cm高い54cmであり、被度は100%であった。以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

生育データ

品種名	なつちから			
	調査項目	本年	平年	比較
萌芽期 (月.日)		3.31	4.16	△ 16
冬損程度		1.0	1.0	0
被度 (%)	(5月20日)	100	100	0
	2番草再生時		100	
出穂始 (月.日)			6.09	
出穂期 (月.日)			6.14	
出穂程度	1番草		7.2	
節間伸長程度	2番草		3.9	
収穫日 (月.日)	1番草		6.15	
	2番草		8.04	
	3番草		10.03	
倒伏程度	1番草		1.0	
病害罹病程度	1番草		1.0	
	2番草		2.0	
	3番草		2.7	
草丈 (cm)	(5月20日)	54	44	10
	(6月5日)		74	
	1番草		97	
	2番草再生時		34	
	2番草		57	
	3番草再生時		39	
生草収量 (kg/10a)	1番草		2,293	
	2番草		713	
	1+2番草計		3,006	
	3番草		516	
	合 計		3,522	
乾物率 (%)	1番草		23.6	
	2番草		28.3	
	3番草		29.9	
乾物収量 (kg/10a)	1番草		538	
	同上平年比 (%)		100	
	2番草		197	
	同上平年比 (%)		100	
	1+2番草計		735	
	同上平年比 (%)		100	
	3番草		153	
	同上平年比 (%)		100	
合 計		888		
同上平年比 (%)		100		

注1) 平年値は前7か年のうち令和5年(最凶)、令和6年(最豊)を除いた前5か年の平均。

注2) 冬損程度、倒伏程度および病害罹病程度は1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。

注3) 出穂程度および節間伸長程度は1:無~9:極多。

令和8年度 北見農試 定期作況報告

2. 耕種概要

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株 本数	播種粒数 (粒/㎡)	播種量 (kg/10a)	株数 (株/10a)
1. 秋まき小麦	5.4	4	ひまわり	20	ドリル	—	255	—	—
2. 春まき小麦	6.0	4	てんさい	30	条播	—	340	—	—
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75	17.8	1	—	—	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	緑肥えん麦	75	30	1	—	—	4,444
8. てんさい	39.6	3	緑肥えん麦	60	23.8	1	—	—	7,003
9. 牧草 (チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30	条播	—	—	2.0	—

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	5.6	17.5	7.0	3.5	—	起生期追肥 N : 5.0	2年目草地 年間3回分施
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—	炭カル : 150	
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000		
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0	—	造成時 炭カル : 200 ダブリン : 30	
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
6. 菜豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0	—		
8. てんさい	15.0	30.0	12.3	6.8	—		
9. 牧草 (チモシー)	15.0	15.0	15.0	3.0	—		